

『子ども110番の家』って？

『子ども110番の家とは』

子どもが危険な目に遭ったときに、助けを求めて駆け込む場所です。

そして、子どもたちを保護し、警察や学校、家庭などへ連絡するなどして、地域ぐるみで子どもたちの安全を守っていくボランティア活動です。



『活動内容』

助けを求めてきた子ども等の保護。

事件・事故の発生を認知したときの警察への110番通報、学校、家庭への連絡。

『留意事項』

子どものプライバシーを尊重して、秘密を守りましょう。

子どもの立場に立った思いやりのある対応を心がけましょう。



対応要領



① 家の中に入れて保護する

慌てずに、まず自分が落ち着いて、助けを求めてきた子どもを家の中に入れて保護してください。

② 子どもを落ち着かせる

「もう大丈夫だよ。」などと優しく声をかけて、子どもを落ち着かせてあげることが大切です。

③ 子どもから話を聞く

次のページにある、聞きとりメモを利用して、子どもから話を聞いてください。

※「子どもから話を聞くときのポイント」

- ・子どもと同じ目線で話を聞く。
- ・子どもの体調に気を配る。
- ・無理に答えを聞かない。
- ・ゆっくりとわかりやすく話してあげる。



落ち着いて
同じ目線で
無理をせず
ゆっくり話して
安心させて

④ 110番通報する

「子ども110番の家」であることを告げ、あなたの住所、氏名等を伝えてから、聞きとった内容を順序よく話してください。

※本人が落ち着いていて、自分で話ができる場合には、直接本人に110番させてください。

⑤ 警察等が到着するまで待つ

パトカーや、警察官が来るまで、家の中で子どもを待たせてください。そして、駆けつけた警察官に、事情を説明してください。

聞きとりメモ

① 何があったか？

- ・連れ去り(腕を引っ張る、車に乗せようとする等)
- ・わいせつ(体に触れる、抱きつく等)
- ・声かけ(お菓子や物を買ってあげる、遊びに行こうと言う等)
- ・つきまとい(追いかける、立ちふさがる等)
- ・その他()

② いつ？

時 分 ころ

③ どこで？

- ・場所:
- ・目標物:

④ 犯人(不審者)は？

男・女()人 年齢()才くらい
身長()cmくらい 体格(肥満・ふつう・痩せ)
服装 上() 下()
特徴(メガネ・サングラス・ヒゲ・帽子・マスク)
その他の特徴()
利用手段(徒歩・自転車・オートバイ・車)
車等のタイプ() 色()
ナンバー()
特徴() 逃走方向()

⑤ 子どもは？

- ・住所:
- ・氏名:
- ・学校名: 立 小・中・高 年

警察へは**110番** 救急の時は**119番**

小学区 小学校(- -)
中学区 中学校(- -)

子ども110番の家

対応マニュアル

